

## 第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

### ②評価調査者研修修了番号

平成 18 第 26 号、SK18261、S2019052、SK18160

### ③施設の情報

名称：小野田陽光園	種別：児童養護施設	
代表者氏名：施設長 山本 昭正	定員（利用人数）：30名（21名）	
所在地：〒756-0817 山陽小野田市大字小野田 6111 番地 28		
TEL：0836-83-4595	ホームページ：	
【施設の概要】		
開設年月日：昭和 27 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 小野田陽光園		
職員数	常勤職員：20名	非常勤職員：9名
有資格 職員数	家庭支援専門相談員：1名	栄養士：1名
	里親支援専門相談員：1名	保育士：11名
	児童指導員：4名	心理療法担当職員：1名
	個別対応職員：1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)

### ④理念・基本方針

理念 「慈悲」・「恕」・「愛」

児童養護施設への取り組みで最も大事であり要請されるものは人間としての豊かさ（心）を育てることであると捉える。その中核は「慈悲（思いやり）」であり「恕」・「愛」といわれるものであろう。

- ・心身ともに健やかにして、社会に適応するように育成する。
- ・基本的人権の尊重・子どもの最善の利益を考慮し権利擁護を基調に健全育成をはかる。

基本方針

- ・施設づくりは連綿として続いてきた伝統が凝縮されている。養育の基底として捉えなければならない。
- ・職員同士の養護観や理念、使命感を共有して、子ども達に安心した環境を提供することが施設養護の基盤である。

◎子どもを第一主義に物事を考え、一切を「子どもの幸せのために」の立場で実践する。

#### ⑤施設の特徴的な取組

##### 1. 子どもの権利擁護

権利擁護の意識を持つこと。意識向上について、援助会議にて研修を実施している。また、月1回の児童からの聴き取りを実施し、第三者委員への報告をおこない、指導助言を受けている。

##### 2. 施設運営の改善

公益性、透明性を維持し、法令順守、社会的責任、コンプライアンスに基づいた風通しの良い運営について、会議において説明し改善に努めている。

##### 3. 職場環境の改善

居心地がよく、風通しのよい職場であるように安心と信頼に基づく人間関係作り、職員同士の相互理解に努めている。

##### 4. 自立支援

社会生活に必要な基礎的な力、様々な生活技術の習得を目指す。

##### 5. 地域交流の拠点

地域活動への参加と地域交流の場としての行事（ふれあい祭の開催、自治会祭、近隣の老人施設との交流夕食会の開催）の実施。

##### 6. 学校、関係機関との連携

フリールーム（不登校児通所施設）を併設。

#### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月25日（契約日）～ 令和3年2月9日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

#### ⑦総評

##### ◇特に評価の高い点

子ども達一人ひとりのニーズを理解し、信頼される関係づくりに努められており、社会情勢を捉えながら、地域の福祉ニーズに応えていく姿勢がうかがえます。

また、子ども達が安心・安全に過ごせるように環境整備に努められ、子ども達の絵や生け花が随所に飾られ、施設内の温かい雰囲気づくりに配慮されています。

働きやすい環境により近づいていくために職員同士のワークライフバランスに注目されるとともに、ベテラン職員と新任職員とのコミュニケーションをしっかりとりながら運営していこうという意識が高く感じられました。

◇改善を求められる点

施設での生活について、「児童毎日会」で子どもの意見を聞き改善に努められていますが、子ども達同士で話し合い、子どもと職員が意見交換できるように自治会の運営の在り方についての検討が望まれます。また、意見箱は、子ども達の目につきやすいような表示の工夫が望まれます。

中・長期計画を策定されると、理念・方針がさらに運営に生かされると思います。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

私たちの仕事は人の幸せを目指す取り組みであり、一人ひとりの子どもに寄り添うことの積み重ねを大切にしていきたいと考えています。また、職員が足並みを揃え、助け合い、協力・協働し、チームで業務に向き合うことも大切であると感じています。今回、第三者の目で客観的に評価・指摘・指導をいただいたことを真摯に受け止め、「子どものための子どもの施設」であるように、より良い支援に努めていきたいと思ひます。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 25 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 共通評価基準（45 項目）

#### 評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<コメント> 事業計画・パンフレットの文書化がなされていますが、ホームページを作成することで子ども達や保護者へのさらなる周知にいたると思われれます。また、理念、基本方針について子ども達が理解できるような掲示の工夫が必要であるため、b 評価としました。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 関係機関からの情報を基に、社会福祉事業の動向分析のためにグラフを作成する等可視化することにより、経営環境の変化など、対応の検討がなされています。しかし、市の各種福祉計画の策定の動向を十分把握し、分析がされていないことと、潜在的に支援を必要とする子どもの分析にまでいたっていないため、b 評価としました。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
<コメント> 定期的に行われている法人の理事会や評議員会において、役員間では共有なされていますが、改善すべき経営課題を、全職員には周知されていない状況です。情報の共有化の観点から課題を要するので、b 評価としました。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標は明確にされていますが、計画の策定まで到達していないことから、b 評価としました。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>単年度の計画については策定されていますが、中・長期計画の目標を明確に踏まえた策定がなされていないため、c 評価としました。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画の策定には、関係職員はもとより全職員が参画し、意見の集約や意見を反映していくシステムは見られますが、設定した目標や経営課題の解決・改善のための評価とともに見直しがなされていないため、b 評価としました。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画を、子どもや保護者等に周知していくには難しい現状もありますが、わかりやすいように工夫されていますので、b 評価としました。</p>		

### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	支援の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援の質の向上に向けた取組を、複数の職員間で実施している仕組みはあります。自己評価や第三者評価を継続的に取り組んでいくための工夫がもう少し必要であるため、b 評価としました。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>前回の評価結果に基づいて、アフターケア、リービングケアについて課題の改善がなされていますが、その他の課題の改善がどのような経過をたどって実施されているのか、文書化</p>		

されていないため、b 評価としました。

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長の具体的な取組が文書化されており、自らの役割と責任を職員会議等において職員に周知しています。新任職員に対して、理念、基本方針を具体的に文書化して配付し、周知を図っていることで、a 評価としました。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員会議や毎日の引継ぎ会等で、職員に対して遵守すべき法令等コンプライアンス規定を説明し周知を図っています。また、必要に応じて、社会保険労務士等に相談し適切な助言を得ていることから、a 評価としました。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長と職員は、養育・支援の質の向上に意欲的に取り組むため、自己研鑽に努めており、OFF-JT（職場外研修）としての研修会に担当の職員を派遣しています。また、復命書が回覧され情報の共有化が図られています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県内の会議や研修会の多くは、オンラインで進められているため、その環境を整備しておられます。こうした取組や意欲が、児童処遇に関する会議、毎日の引継ぎ会の記録からうかがえたため、a 評価としました。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現在の経営状況やコストバランスの分析に基づいて、経営の改善や業務の実効性が向上するように目標としておられます。また、人員配置と働きやすい環境整備に取り組むシステムが確認できましたので、b 評価としました。</p>		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		

14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各種職員の適切な配置に取り組み、最大限の職員を配置して、人員体制の充実を図っています。しかし、必要な福祉人材の確保・育成・定着等に関する具体的な計画は策定されていないため、b評価としました。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の意向や希望を尊重するコミュニケーションは大切にされておられます。しかし、事業計画書に「めざす職員像」は明記されてますが、職員が自ら将来像を描くことができるような総合的なシステムが見受けられないため、b評価としました。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ワークライフバランスに配慮した就労環境が整備されつつあり、年次有給休暇の取得がしやすくなったり、生活学習勤務、夜間勤務への配慮など就労環境改善に取り組んでいます。しかし、個別面談が定期的実施されておらず、相談しやすいようなシステムの課題があるととして、b評価としました。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>新任職員や新たな職務の担当となった職員に対して、経験豊富な職員が1ヶ月～2ヶ月間同じ勤務帯による機会を設定して、コミュニケーションの機会を図ることで不安が解消できるよう工夫がなされています。しかし、職員一人ひとりの知識・経験等に応じた具体的な目標達成への設定のための年度当初の面接、中間面接のシステムがなされていないため、b評価としました。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>教育・研修に対して、施設の基本的考え方等を明確にしています。年間1回外部講師を招いての研修会が計画的に実施されているため、a評価としました。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>新任職員をはじめ職員の経験や技術の向上に配慮したOJT（実務訓練）が実施されており、OFF-JT（職場外研修）にも取り組み、各種の研修に参加できることが勤務予定表からその配慮が見られます。また、復命書の提出により、研修資料の閲覧ができることから、a評価としました。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習担当職員を配置し、「実習生のしおり」を作成し、配付による実習オリエンテーションを実施しています。また、学校と連携をとりながら実習巡回指導に対応するとともに、学校側から要請があれば事前説明等も実施していることから、a評価としました。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>定期的に第三者評価を受審することで、評価結果が公開されています。広報誌の配付に難しい課題があるため、ホームページを活用することで運営の透明性が確保された情報公開に近づくため、b評価としました。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のために、定期的に法人役員会や法人監査、評議員会を開催しています。また、公認会計士による会計監査の実施とともに、ガバナンスの強化や財務規律の確立に向けて指導を受けていることから、a評価としました。</p>		

### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の自治会に加入し、園務分掌で地域の自治会担当者を選任し、公園の整備や自治会行事に参加したり、子ども会活動や行事に積極的に参加しています。子ども達と地域との交流の連絡調整が継続されていることから、a評価としました。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設でのボランティアを希望する人には、基本姿勢と注意事項を明確に記した文書を配付しています。また、園務分掌で子ども達が通学等で関係する学校ごとに担当者を選任し、地域の学校教育等への協力をしています。さらに子ども達の学習支援に、地元の大学生が参加しておられることから、a評価としました。</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>情報の共有化を図るために、児童相談所をはじめとして、各学校や関係機関、関係団体の機能や連絡方法がわかりやすく迅速に使えるように一覧表の整備がされています。施設内に市教育委員会からの委託で不登校児通所施設のフリールームが確保されています。このように各機関との連携が見られることから、a評価としました。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の福祉ニーズ等を把握するため、関係する協議会や各関係機関との連携を図っています。また、フリールームを活用するとともに、地域の児童の状況や家庭環境の把握に努めていることから、a評価としました。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の運動会や行事に職員と子ども達が参加することで、地域のコミュニティ活動の推進に貢献されておられます。しかし、把握した福祉ニーズ等に基づいた具体的な事業・活動の計画は明示されていないため、b評価としました。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもを尊重した養育・支援のための実施計画を策定し、毎月の職員会議でその月の計画に反映させ実践に繋げています。また、子ども一人ひとりの養育・支援について自立支援計画書に基づき、職員間の共通理解を図り実践していることから、a評価としました。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どものプライバシー保護に関する取組が、事業計画書に記載されています。子どもを尊重した養育・支援のために、一人ひとりの子どもにとって生活の場にふさわしい快適な環境を提供しています。その一つとして、学習に集中できる静かな空間や環境が用意されていることから、a評価としました。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		

30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援の利用について必要な情報提供は、パンフレットと補足資料により丁寧な説明がなされています。しかし、ホームページを作成することで、もう少しわかりやすい施設紹介の可能性があるとと思われるので、b評価としました。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援の開始・過程において、子どもや保護者にわかりやすく説明し、可能な限り情報を提供し自己決定に配慮しながら、日常生活の中で聞き取りをする等の工夫をしています。処遇経過記録等にその経過が記載されているため、a評価としました。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行にあたっては、子どもや保護者等の意向を踏まえるとともに、児童相談所や関係機関との連携が十分に図られています。しかし、施設のシステムとしての取組までにはいたっていないため、b評価としました。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「毎日会」で子どもからの意見を聞いたり、職員と個別の話し合いの機会を大切にしながら、子ども達の満足感を確認しています。また、把握した結果について検討がなされているため、a評価としました。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設で担当している苦情解決責任者等による、苦情解決や苦情内容への対応はなされています。しかし、苦情対応策や検討内容についてのふり返りや、検討過程を公開するまでにはいたっていないため、b評価としました。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「毎日会」で子どもからの意見を聞いたり、相談しやすい環境のスペースあります。しかし、意見箱の設置と意見表明の方法についてわかりにくく、どこに表明するのか、電話番号が見やすいような工夫が必要であるため、b評価としました。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもからの相談や意見について、職員間で周知を図り、可能な内容は速やかに対応され、時間のかかるものは子ども達に伝え、検討・対応がなされています。しかしながら、対応マニュアルの作成までいたっていないため、b 評価としました。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「緊急時対応マニュアル」に基づき対応しています。また、ヒヤリハットなどを活用し、情報収集を行い、改善や再発防止の対応を行っていますので、a 評価としました。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症対応マニュアルを作成するなど、施設としての安全確保の体制を整備されています。また、子ども達からの発案で、新型コロナ感染者数を県全体と各市町の感染者数の推移を掲示板に子どもに書いてもらうなど、注意喚起の工夫等意欲的に取り組んでいく実践がされているため、a 評価としました。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>防災マニュアルに基づき、災害時の対応システムがあります。また、月に一度避難訓練を実施されています。しかし、「事業継続計画」の策定までにはいたっていないため、b 評価としました。</p>		

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>養育・支援についての標準的な実施方法は、子どもの状況や必要とする支援等に応じて継続的に検討されています。しかし、適切に文書化されていないため、b 評価としました。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法については、子どもに必要な養育・支援内容の変化や新たな知識の導入をされています。しかし、定期的に現状の検証や、必要な見直しを行うシステムまでには反映されていないため、b 評価としました。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。</p>		

42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>前年度ケース担当者のアセスメントを基に、担当職員が参画した検討会を経て、今年度の自立支援計画の策定がされています。しかし、自立支援計画票に子どもや保護者の意向は記載されていますが、計画の内容に難しい部分もあり、十分に同意を含んでいるとはいえない部分があるので、b評価としました。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自立支援計画の見直しにあたっては、子どもの意向把握と同意を得るための手順や定期的に見直すことで次年度へ継続していくシステムが確立しています。a評価としました。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもに関する養育・支援実施状況の記録や自立支援計画が文書化され、いつでも閲覧が可能となっています。今後は、PCを用いたネットワークシステムの活用による、記録の回覧をはじめとして、情報を共有化できるシステムの整備が期待されるため、b評価としました。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人情報保護規程を策定し、個人情報の不適切な利用や漏えいに対する対策とその対応方法を規程するとともに、各種の記録の保管、管理、保存の運用に生かしています。a評価としました。</p>		

## 内容評価基準（25項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

### A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの権利擁護		
A①	A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>権利ノートが掲示板に常設してありますが、子どもへの説明が十分とは言えず、マニュアルも整備されていません。子どもの意見表明に対する取組は、本体施設、小規模グループケア両方共、意見箱の設置がわかりにくくなっています。意見表明の方法についてもわ</p>		

<p>かりにくく、表明しやすいような表記の仕方の工夫が必要であるとして、c評価としました。</p>		
<p>A-1-(2) 権利について理解を促す取組</p>		
A②	<p>A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の養育の中で、自己や他者の権利について子どもの理解が深まることを意識して支援されていますが、権利ノートなどを活用しての具体的でわかりやすい説明や、子ども達と職員が話し合う場をもう少し持つなどの取組が必要と判断して、b評価としました。</p>		
<p>A-1-(3) 生い立ちを振り返る取組</p>		
A③	<p>A-1-(3)-① 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人アルバムは作成の基準にそって、職員と子どもが思い出を振り返りながら一緒に作成されています。子どもによっては入所前の写真やエピソードの記録がありました。「生い立ちの振り返り」について職員に再度理解させるための研修が課題である。」とのことから、今後に期待して、b評価としました。</p>		
<p>A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等</p>		
A④	<p>A-1-(4)-① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待対応のガイドライン・マニュアル等を職員会議で施設長が説明し、全国児童養護施設協議会のチェックリストで日々の支援の在り方を点検しています。第三者委員会を開催し、児童への聞き取り結果を報告し、指導助言を受けています。以上を定期的に行い、毎日の引継ぎ会で虐待防止について、職員に意識を高めることに取り組んでおられるため、a評価としました。</p>		
<p>A-1-(5) 子どもの意向や主体性への配慮</p>		
A⑤	<p>A-1-(5)-① 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「毎日会」で子どもからの意見を聞いて、職員と個別の話し合いの機会を持っています。自治会がありますが、意思を表現しない子どもが増えてきたということからも、子ども達が主体となって自分達の生活について、職員と子ども達が一緒に話し合う場としての活用に工夫が必要であるため、b評価としました。</p>		
<p>A-1-(6) 支援の継続性とアフターケア</p>		
A⑥	<p>A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入所時に、全職員で個々のケースに応じて情報を共有・検討し、不安軽減のための支援</p>		

<p>を行っています。措置変更において、子どもや家族の情報をまとめた「ケース概要」を措置変更先に提供する等、支援の継続性を大切にした取組の実践が確認されたので、a 評価としました。</p>		
A⑦	A-1-(6)-② 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;  アフターケア、リービングケアの実施要項に基づいて取り組まれ、退所後1年間は前担当が窓口となりフォローしています。当番日誌に退所者連絡一覧が作成され、必要に応じ活用されています。園祭りに卒業生が多く来園し、職員、入園者との交流やフォローの場として定着しています。こうした取組がなされているので、a 評価としました。</p>		

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑧	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  職員間で、「子どもを理解し、受容的・支持的態度で支援する。」ことを毎日の引継ぎ、会議等で確認されています。「児童毎日会」や、日常生活の中で子どもの気持ちを尊重し、また対話しながら関係性を築いています。a 評価としました。</p>		
A⑨	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	b
<p>&lt;コメント&gt;  勤務職員が一定の裁量権をもって、日常生活の中で子どもの意思を尊重し柔軟に対応しています。日常生活では、子どもの気になることについては対応する等、子どもと関わる時間を確保するなどの工夫が課題として認識されているので、b 評価としました。</p>		
A⑩	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
<p>&lt;コメント&gt;  「ほめること・認めること」を子どもの自己肯定感を高めることへの支援の基本とし、つまずきや失敗体験も職員でフォローして今後に生かすような対応が実践されています。状況によっては担当職員と他の職員も加わり対応をする等柔軟な養育・支援により、子どもの様子を把握する工夫があり、a 評価としました。</p>		
A⑪	A-2-(1)-④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
<p>&lt;コメント&gt;  学びや遊びに対する子どもの意見を自由に発信できる雰囲気があります。学習室に大量の図書蔵書を備え、子どものニーズを把握し可能な限り学びや遊び場を保障しています。  高校への進学希望の子どもには希望により、学習支援ボランティアを募り対応しているので、a と評価しました。</p>		

A⑫	A-2-(1)-⑤ 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の各種行事に子どもと共に参加し、社会性を習得する取組を積極的に行っています。日常生活の決まり事や約束ごとを作っていく過程において、子どもの特性や生活環境（本園と分園）の違いで、職員主導になりがちとなる課題が見えたため、b評価としました。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A⑬	A-2-(2)-① おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食事の配席は児童の特性、職員とのコミュニケーションが図れるよう座席指定で配席されています。冷蔵庫、保冷庫、電子レンジが設置され、帰宅の遅い子どもも適温で食べられるよう配慮されています。楽しみながら食事ができるような企画が日常的に豊富にあり、創意工夫されている実践を確認しましたので、a評価としました。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A⑭	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>衣類が十分確保され、常に清潔で季節にあったものが着用できるよう配慮されています。また、洗濯・アイロンがけ・補修等の適切な声掛けがなされています。発達年齢に応じて衣服の自己管理ができるよう、子どもへの支援が見られることから a 評価としました。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A⑮	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの作品が随所に配置され、家庭的な雰囲気づくりに努めています。清掃も行き届き、花壇の整備を含めて施設全体が綺麗に整備されています。相部屋であっても個人の空間が確保される工夫とともに居場所づくりがなされているので、a評価としました。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A⑯	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の健康観察、検温で子どもの健康状況を把握し記録で情報共有しています。新型コロナウイルス感染症については、県全体と各市町の感染者数の推移を掲示板に子どもに書いてもらうなど、注意喚起にも工夫が見られます。また、職員会議等で、季節的に合わせた（感染症等）話をされているとヒアリングで聞き取りました。しかし、園内研修で健康に関するテーマを定期的実施されることが位置づけられていないので、b評価としました。</p>		
A-2-(6) 性に関する教育		
A⑰	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けてい	b

	る。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>性教育担当職員を配置し、担当職員と連携して個別に指導や子どもへの対応を行っています。しかし、子どもへのカリキュラムや職員のOJT（実務訓練）による勉強会が計画的に実施できていないため、b評価としました。</p>		
A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A⑱	A-2-(7)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの行動上の問題により引き起こされる状況への対応は、組織的に行われています。関係機関（学校・児童相談所・医療・保護者等）とも十分に連携がとれています。しかし、全職員が取り組めるような予防的措置や対応の分析、定期的に行う職員研修に課題が見られるため、b評価としました。</p>		
A⑲	A-2-(7)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月児童に聞き取りを行い、子ども同士の関係性の把握に努め、子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように配慮し、不適切な状況については適宜介入をされています。しかし、ケース担当職員が対応するため負担が大きく、全職員が対応できるような新たなシステムを構築することが必要と判断し、b評価としました。</p>		
A-2-(8) 心理的ケア		
A⑳	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>心理療法担当者を配置し、コミュニケーションルームにおいて、子どもが自由に部屋を利用することのできるフリータイムと個別の心理的支援等を実施するリラックスタイムがあり、有効に活用されています。心理士日誌により職員間の情報が共有されており、また心理療法担当者が各種会議、児童相談所等の関係機関との連携により助言・指導がなされているので、a評価としました。</p>		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A㉑	A-2-(9)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中高生は居室の机、小学生は保母室等共用スペースに机を配置し学習環境を整え、豊富な図書や学習プリントを準備し学習指導をしています。会議等で子ども個々の学習状況や学力を把握する等の情報共有を行っています。基礎学力の向上など個別の学習支援が必要な子ども（障がいや学力の低い子）への支援に課題があるため、b評価としました。</p>		
A㉒	A-2-(9)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

<p>進路の自己決定ができるよう、情報収集、オープンキャンパス等への参加は、担当職員が中心となって支援されています。しかし、担当職員だけではなく、施設職員全体で支援できる仕組みと、中途退学等へのフォローが不十分とした改善事項も見受けられたため、b評価としました。</p>		
A㉔	A-2-(9)-㉓ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;          アルバイトによる社会経験と、資格取得を奨励されており、そのため指導や助言等が行われています。施設独自の職場体験や職場実習の開拓に課題があるため、b評価としました。</p>		
A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
A㉔	A-2-(10)-㉑ 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;          ケース担当職員と、保護者と良好な関係にある職員が、家庭支援専門相談員と連携し、家庭環境調整等を行っています。保護者との外出や一時帰省後には、保護者、子ども双方から様子を確認し必要に応じフォローしています。また、家族との信頼関係づくりを日頃から積極的に取り組んでおられます。しかし、保護者が協力的でないケースについての、保護者への働きかけに苦慮されている部分を課題とされているので、b評価としました。</p>		
A-2-(11) 親子関係の再構築支援		
A㉔	A-2-(12)-㉑ 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;          親子関係の再構築への取組が実施されています。家族療法事業の計画的実施や、家庭訪問の実施に課題があるため、b評価としました</p>		